

## すみだ五彩の芸術祭の準備状況について

すみだ五彩の芸術祭（以下「芸術祭」という。）については、本年9月の開幕に向けて、企画や参加アーティスト・団体のラインアップの公表をはじめ、芸術祭公式ウェブサイト及びSNSによる情報発信、連携企画の募集、区民参加の仕組みである「五彩睦会員（ボランティア）」の募集などの各種取組を順次展開している。

また、自主企画、公募企画、共催企画及び連携企画による全体プログラムの具体化を進めるとともに、地域との連携、会期中の運営体制構築、広報展開、収入の確保及び効果検証の設計など、開催に必要な準備を総合的に進めている。

## 1 プログラムの進捗状況

芸術祭では、自主企画、公募企画、共催企画及び連携企画の4つの枠組みにより、区内全域で多様な文化芸術プログラムを展開する。現在、約140の企画を予定している。（企画一覧は、別紙のとおり。なお、企画数は今後変更する可能性あり。）

## (1) 自主企画

芸術祭の企画方針に基づき、ディレクター等がアーティストを招へいし、作品展示、パフォーマンス、参加型企画等を実施する。企画・予算・運営は事務局が直接担い、実施にあたっては実行委員会の承認を経て行う。本年4月14日のプレスリリースにてラインアップを発表し、現在芸術祭の開催に向けた制作準備に取り組んでいる。

## (2) 公募企画（公募プロジェクト）

応募要項に沿って、広く一般から企画提案を募集し、審査の上で公式プログラムとして採択・実施する事業を公募企画とする。本年4月14日のプレスリリースにて264件の応募の中から、採択事業18件を発表した。現在公募企画の運営を担う「隅田川 森羅万象 墨に夢（すみゆめ）」実行委員会にて、各企画の伴走支援を行いながら、実施に向けた制作準備に取り組んでいる。

## (3) 共催企画

区及び区と協力関係にある団体等が実施する事業のうち、芸術祭の趣旨に合致し、実行委員会と連携・協議のうえ共同で主催する企画を共催企画とする。具体的には、墨田区文化振興財団の主催事業（すみだトリフォニーホールの音楽事業及びすみだ北斎美術館事業等）、墨田区文化祭及び区内事業等のうち、29企画を芸術祭共催企画とする予定である。

## (4) 連携企画

芸術祭の趣旨に賛同し独自に事業を実施する第三者企画について、実行委員会が承認し、芸術祭関連事業として「連携」する企画を連携企画とする。芸術祭公式ウェブサイト等に連携企画の情報を掲載するなど、広報連携・タイアップを中心に展開する。本年4月1日から5月15日までの間に、連携企画の申込受付を実施した。応募等のあった67企画を認定する予定であり、広報連携の具体的な内容等を主催者と調整していく。

## 2 広報展開

芸術祭の認知向上及び機運醸成を図るため、芸術祭のロゴマーク及びキービジュアルを活用した統一感のある情報発信を行う。芸術祭公式ウェブサイトや SNS、紙媒体、屋外広告等の多様な媒体を組み合わせながら、区民をはじめ、区外からの来訪者を含めた幅広い層に対して、段階的かつ継続的な広報展開を進め、来場及び参加につなげていく。

<現在予定している広報施策>

### (1) デジタル媒体を活用した情報発信

- ・芸術祭公式ウェブサイトのリニューアルによる情報発信の充実
- ・芸術祭公式 SNS（Facebook、Instagram、X）を活用した継続的な情報発信
- ・ディレクターブログ等による企画の魅力発信

### (2) 紙媒体による広報展開

- ・区報特集号の発行
- ・芸術祭公式チラシ・ポスターの作成及び配布
- ・町会掲示板等を活用した地域への周知
- ・公式プログラム等の制作

### (3) まちなか装飾等による機運醸成

- ・懸垂幕の掲出、フラッグ等によるまちなか装飾
- ・デジタルサイネージの活用
- ・鉄道駅等でのポスター掲示

### (4) メディア等との連携

- ・プレスリリースの実施
- ・各種メディアへの情報提供
- ・ウェブメディア等との連携による情報発信
- ・協賛企業や関係団体との連携した周知
- ・地域イベント等との連携した周知

## 3 芸術祭への参加促進

芸術祭では、地域との連携を強化し、区民の参画機会を拡充するため、以下の取組を通じて、地域に根差した文化芸術の取組を行う。

### (1) ボランティア活動を通じた参加促進

本年4月14日から、芸術祭公式ウェブサイトにおいて、芸術祭をともに盛り上げるボランティア「五彩睦（ごさいむつみ）会員」の募集を開始した。五彩睦会員は、会期中の来場者案内、会場運営補助、広報協力等に加え、会期前からトークイベントや交流企画等の参加を通じて芸術祭の機運醸成にも関わる位置付けである。経験を問わず、芸術祭の趣旨に賛同し、地域とともに芸術祭を盛り上げる意欲のある方の参加を広く募っていく。

## (2) 地域コーディネーターによる参加促進

地域と芸術祭をつなぐ役割を担う地域コーディネーターを中心に、会期中の総合案内所となる押上の「ことまちラボ」を活動拠点として、区民等が芸術祭に主体的に関わるための取組を進めている。現在、五彩睦会員の交流や情報提供に加え、芸術祭について気軽に語り合うトークイベントや交流企画等を通じて、地域住民、町会、事業者等とのつながりを進めていく。

今後は、五彩睦会員の関心やアイデアを起点としたテーマ型の活動や交流の場の創出を通じて、芸術祭への多様な関わり方を広げるとともに、地域から生まれる主体的な活動を芸術祭へつなげることで、地域とともに作る参加型の芸術祭としての展開を図っていく。

## (3) 企画・制作を通じた参加促進

自主企画においても、区民が制作や体験、対話等を通じて主体的に関わることができる参加型企画を展開する予定である。単に作品を鑑賞するだけでなく、地域やまちの魅力に触れながら、多様な人々が交流し、新たなつながりや気づきを生み出す機会を創出することで、区民参加型の芸術祭としての展開を図っていく。

<現在具体化している内容例>※他企画についても検討中

- ・梅若はまだ帰らない。<白鬚東アパート漂流ダンスツアー版>

出演者の一般募集を実施する。

- ・「歓喜の歌」～すみだ特別編～

出演者の一般募集を実施する。

- ・色を纏う、共に縫う（仮）

作品制作の一部を一般の方と共同で実施することを検討している。

- ・みんなが社会のアーティスト（仮）

区内の中学生とアーティストが共同で作品を立ち上げるプロジェクトを検討している。

## 4 収入確保に向けた取組

芸術祭の安定的な運営に向け、企業協賛、公的補助金等の収入の確保に取り組んでいる。

### (1) 協賛金の獲得状況について

5月末現在で21社の協賛が決定しており、目標額を超える見込みである。今後は、五彩企業サポーターや個人サポーターへの勧奨を中心に引き続き獲得に向けて取り組んでいく。

<協賛企業内訳>（5月末現在）

- ・芸術祭ゴールドパートナー（100万円以上または同等の物品・役務等協賛） 8社
- ・芸術祭オフィシャルパートナー（50万円以上または同等の物品・役務等協賛） 7社
- ・五彩オフィシャルサポーター（20万円以上または同等の物品・役務等協賛） 1社
- ・五彩企業サポーター（5万円以上または同等の物品・役務等協賛） 5社

### (2) 補助金・助成金の申請状況等について

文化庁の文化芸術振興補助金（文化芸術創造拠点形成事業）について、令和8年4月8日に採択決定通知を受領した。（採択額 53,253 千円）

また、アーツカウンシル東京（東京都）の助成事業のうち「芸術文化魅力創出助成（2026年度第1期）」及び「東京芸術文化鑑賞サポート助成」を申請した。

### (3) その他事業収入について

観劇等の一部の公演企画について、鑑賞料を設定し、事業収入の確保を図る。鑑賞料については、区民割引・U-25 割引・障がい者割引等の導入を検討している。

<鑑賞料設定企画一覧>

- ・梅若はまだ帰らない。<戯曲ダンス版> 会場：すみだパークシアター倉
- ・ケアと演技 会場：すみだパークシアター倉
- ・謎音－忘却の川－ 会場：鐘ヶ淵全域
- ・「歓喜の歌」～すみだ特別編～ 会場：曳舟文化センター

## 5 効果検証

芸術祭の実施にあたっては、文化芸術活動を通じた区民意識の変化や地域への波及効果を把握し、事業評価と今後の事業運営の改善に活かすことを目的として効果検証を行う。

検証にあたっては、ロジックモデルに基づき成果指標を設定し、開催前後において、区民、来場者及び関係者（協賛、制作協力者等）を対象としたアンケート調査を実施する。併せて、来場者数や参加状況、SNS 等の反響分析を行い、行動や意識の状況を把握する。

また、当該アンケート調査等をもとに、外部有識者による評価の導入を検討し、第三者の視点から事業の評価や課題を整理し、今後の文化芸術活動の振興につなげていく。

## 6 今後のスケジュール（予定）

- 令和 8 年 6 月 芸術祭公式ウェブサイトのリニューアル
- 6 月～ 各企画の作品制作
- 7 月 第 9 回実行委員会の開催
- 9 月 すみだ五彩の芸術祭の開催（9 月 4 日から 12 月 20 日まで）